

独立行政法人さけ・ます資源管理センターの業務の実績の評価基準

平成14年6月12日

独立行政法人評価委員会水産分科会

最終改正 平成15年4月24日

独立行政法人評価委員会水産分科会（以下「評価委員会」という。）が行う独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第32条及び第34条の規定に基づく独立行政法人さけ・ます資源管理センター（以下「さけ・ますセンター」という。）の業務の実績に関する評価については、以下の基準により行うこととする。

なお、この基準の内容については、今後の評価作業の実行経過等を踏まえつつ、改善を図っていくこととする。

1. 評価の基本方針

- （1）各事業年度における業務の実績に関する評価は、さけ・ますセンター中期計画（以下「中期計画」という。）に対する当該年度の業務の実施状況について総合的に評価することにより行う。
- （2）中期目標期間における業務の実績に関する評価は、さけ・ますセンター中期目標（以下「中期目標」という。）に対する達成状況について総合的に評価することにより行う。
- （3）評価は、中央省庁等改革の推進に関する方針（平成11年4月27日中央省庁等改革推進本部決定） - 14（1）の定め（『委員会が設定する客観的な評価（例えば、中期目標の達成度合いに応じた数段階評価）基準による』）を踏まえて行う。

2. 用語の定義

この基準において「大項目」、「中項目」及び「小項目」とは、別表1における「大項目」、「中項目」及び「小項目」をいう。

3. 評価単位

評価は、中期計画における中項目を評価の最小単位として行う（以下、評価の最小単位を「基礎項目」と総称する。）。

ただし、「第4 短期借入金の限度額」、「第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画」及び「第6 剰余金の使途」については、大項目を基礎項目とする（第5については、実績があった場合に評価を行う。）。

また、中項目のうち「第2 - 2 さけ類及びます類の資源管理に資する業務」については、当該項目の重要性を考慮し、小項目を基礎項目とする。

なお、「第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画」につ

いては、別表 1 の項目を基礎項目とする。

4. 基礎項目の評価のランク分け等

基礎項目の評価は、業務の進捗度合い又は達成度合い等に応じた以下のランク分けを基に 3 段階又は 4 段階で評価を行う。

- (1) 中期計画における「第 1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、「第 2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「第 7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項」の「2 職員の人事に関する計画（人員及び人件費の効率化に関する目標を含む。）」の項目について

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A：計画に対して業務が順調に進捗している

B：計画に対して業務が概ね順調に進捗している

C：計画に対して業務が遅れている

中期目標の期間における業務の実績の評価に係るランク

A：目標を達成している

B：目標を概ね達成している

C：目標の達成が不十分である

なお、中期計画の「第 2 - 2 - (2) のイ 調査研究とウ 技術開発」に係る項目については、新知見の発見等特筆すべき実績が得られる場合があり、このような実績を正当に評価するため、上記及びのランクに、各々次のランクを加え、4 段階で評価を行う。

S：計画を大きく上回って業務が進捗している

S：目標を大きく上回って達成している

- (2) 中期計画における「第 3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画」の項目について

- 1) 経費（業務経費及び一般管理費）節減に係る取り組み（支出の削減についての具体的方針及び実績等）

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A：取り組みは十分であった

B：取り組みは概ね十分であった

C：取り組みは不十分であった

中期目標の期間における業務の実績の評価に係るランク

A：目標を達成している

B：目標を概ね達成している

C：目標の達成が不十分である

(のランクは、次の項から (5) の項までにおいて同じ。)

2) 外部資金の獲得に係る取り組み(受託収入、競争的資金及び自己収入の増加についての具体的方針及び実績等)

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A: 取り組みは十分であった

B: 取り組みは概ね十分であった

C: 取り組みは不十分であった

3) 法人運営における資金の配分状況(人件費、業務経費、一般管理費等法人全体の資金配分方針及び実績、関連する業務の状況、予算決定方式等)

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A: 効果的な資金の配分は十分であった

B: 効果的な資金の配分は概ね十分であった

C: 効果的な資金の配分は不十分であった

(3) 中期計画における「第4 短期借入金の限度額」の項目について(借入に至った場合の理由、使途、金額、金利、手続き、返済の状況と見込み)

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A: 借入に至った理由等は適切であった

B: 借入に至った理由等は概ね適切であった

C: 借入に至った理由等は不適切であった

(4) 中期計画における「第6 剰余金の使途」の項目について(中期計画に定めた使途に充てた結果、当該事業年度に得られた成果)

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A: 得られた成果は十分であった

B: 得られた成果は概ね十分であった

C: 得られた成果は不十分であった

(5) 中期計画における「第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項」の「1 施設及び整備に関する計画」の項目について(中期計画に定められている施設及び設備について、当該事業年度における改修・整備前後の業務運営の改善の成果)

各事業年度における業務の実績の評価に係るランク

A: 改善の成果は十分であった

B: 改善の成果は概ね十分であった

C: 改善の成果は不十分であった

5．評価の手順

(1) 基礎項目のウエイト付け

さけ・ますセンターは、基礎項目について、当該基礎項目及び当該基礎項目が属する大項目の重要性、細項目数、配置人員、経費配分額等を勘案してウエイト付けを行い、その結果を理由書及び関係資料を添えて評価委員会に提出する（様式1）。

ウエイト付けは、原則として、中期目標（計画）期間を見通して行う。

(2) 自己評価結果の提出

さけ・ますセンターは、基礎項目について、4．に掲げるランク分けを用いて段階的評価を行うとともに、必要に応じ意見を付し、これを自己評価結果として評価委員会に提出する（様式2）。

さけ・ますセンターが自己評価結果を提出する場合は、併せて、当該自己評価結果を導くに至った資料（例えば、自己評価の仕組み、評価指標、基礎項目より下位の項目に係る自己評価結果等）を参考として提出する。

なお、基礎項目より下位の項目に係る自己評価においても、原則として、4．に掲げるランク分けを用いるとともに、下位の項目の評価結果を上位の項目へ集約する場合には、原則として、(4)と同様の方法を用いることとする。

(3) 基礎項目の評価等

評価委員会は、さけ・ますセンターによるウエイト付けの内容を検証し、必要に応じ修正を行った上、これを評価委員会によるウエイト付けとする（別表1）。

なお、評価委員会は、中期目標（計画）期間中において、ウエイト付けの内容を変更する必要があると認める場合は、これを変更するものとする。

評価委員会は、さけ・ますセンターによる自己評価結果の内容を検証し、必要に応じ修正を行い、また、所見を付した上、これを評価委員会による基礎項目の評価結果とする（別表2）。

(4) 中項目又は大項目への評価結果の集約

評価委員会は、基礎項目に係る評価結果を中項目又は大項目へ集約する場合は、当該中項目又は大項目に属する基礎項目について(3)によるウエイト付けを行った後の総数に占めるA（SはAとみなす。）の割合に応じて、以下のランク分けを基に3段階で評価を行う（別表3、4）。

A：Aの割合が80%以上（業務が順調に進捗又は目標を達成）

B：Aの割合が60%以上80%未満（業務が概ね順調に進捗又は目標を概ね達成）

C：Aの割合が60%未満（業務が遅延又は目標の達成が不十分）

なお、評価に当たっては、必要に応じ当該評価を下すに至った経緯、理由及び業務の進捗度合い又は達成度合いの低い項目に係る業務運営の改善等について所見を付す。

(5) 総合評価

総合評価は、各大項目の評価結果及び次に掲げる事項等を総合的に勘案して、3段階で評価を行うとともに、(4) に準じて所見を付す(別表 5)。

中期計画の「第 2 - 1 業務の重点化」に記載している事項の対応状況
中期計画の「第 2 - 2 - (2) のイ 調査研究とウ 技術開発」における
S 評価の有無・内容
財務諸表の内容
業務運営の効率化への取り組み状況
中期計画に記載されている事項以外の特筆すべき業績
さけ・ます類の放流から回帰までのタイムラグ、回帰量の多寡による種卵
確保への影響等の特殊性

6 . 関係書類の提出等

評価委員会は、さけ・ますセンターに対し、この基準に定めるもののほか、評価に必要な書類の提出及び説明を求めることができるものとする。

独立行政法人さけ・ます資源管理センター基礎項目別ウエイト付け一覧表

基礎項目	項 目 名	項目種類	ウエイト	備考
	第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	大項目	-	
	1 組織体制の整備	中項目	-	
	2 業務の運営管理	中項目		
	(1) 業務方針の決定	小項目	-	
	(2) 業務に対するニーズの把握	小項目	-	
	(3) 業務の評価	小項目	-	
	(4) 職員の資質向上及び処遇	小項目	-	
	3 業務の効率化	中項目		
	4 他機関との連携	中項目		
	5 施設、機械等の効率的活用	中項目		
	6 運営体制の改善	中項目		
	第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	大項目	-	
	1 業務の重点化	中項目	-	
	2 さけ類及びます類の資源管理に資する業務	中項目	-	
	(1) さけ類及びます類の資源を維持し、その持続的利用を図るためのふ化及び放流の確保	小項目		
	(2) さけ類及びます類の資源管理に資するための調査及び研究の推進	小項目		
	(3) さけ類及びます類のふ化及び放流技術の講習並びに指導の充実	小項目		
	(4) 成果の公表、普及、利活用の促進及び情報の収集提供	小項目		
	(5) 水産行政等に係る対応	小項目		
	(6) アンケート調査の実施	小項目		
	3 情報の公開	中項目		
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）収支計画及び資金計画	大項目	-	
	1 経費（業務経費及び一般管理費）節減に係る取り組み			
	2 外部資金の獲得に係る取り組み			
	3 法人運営における資金の配分状況			
	第4 短期借入金の限度額	大項目		
	第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	大項目	-	
	第6 剰余金の使途	大項目		
	第7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項	大項目	-	
	1 施設及び設備に関する計画	中項目		
	2 職員の人事に関する計画（人員及び人件費の効率化に関する目標を含む。）	中項目		
	(1) 方針	小項目	-	
	(2) 人員に係る指標	小項目	-	
	(3) その他	小項目	-	

平成 年度 独立行政法人さけ・ます資源管理センター業務実績自己評価票

		独立行政法人さけ・ます資源管理センター	
基礎項目名			
自己評価 ランク	A : 計画に対して業務が順調に進捗している B : 計画に対して業務が概ね順調に進捗している C : 計画に対して業務が遅れている		
個別指標ご との評価	具体的指標	ランク	
当該基礎項目 における具体 的な業務の進 捗状況			
その他特筆す べき事項			
その他(意見)			

独立行政法人さけ・ます資源管理センター基礎項目及びウエイト一覧表

基礎項目	項 目 名	項目種類	ウエイト
	第 1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	大項目	-
	1 組織体制の整備	中項目	-
	2 業務の運営管理	中項目	
	(1) 業務方針の決定	小項目	-
	(2) 業務に対するニーズの把握	小項目	-
	(3) 業務の評価	小項目	-
	(4) 職員の資質向上及び処遇	小項目	-
	3 業務の効率化	中項目	
	4 他機関との連携	中項目	
	5 施設、機械等の効率的活用	中項目	
	6 運営体制の改善	中項目	
	第 2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	大項目	-
	1 業務の重点化	中項目	-
	2 さけ類及びます類の資源管理に資する業務	中項目	-
	(1) さけ類及びます類の資源を維持し、その持続的利用を図るためのふ化及び放流の確保	小項目	
	(2) さけ類及びます類の資源管理に資するための調査及び研究の推進	小項目	
	(3) さけ類及びます類のふ化及び放流技術の講習並びに指導の充実	小項目	
	(4) 成果の公表、普及、利活用の促進及び情報の収集提供	小項目	
	(5) 水産行政等に係る対応	小項目	
	(6) アンケート調査の実施	小項目	
	3 情報の公開	中項目	
	第 3 予算（人件費の見積りを含む。）収支計画及び資金計画	大項目	-
	1 経費（業務経費及び一般管理費）節減に係る取り組み		
	2 外部資金の獲得に係る取り組み		
	3 法人運営における資金の配分状況		
	第 4 短期借入金の限度額	大項目	
	第 5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	大項目	-
	第 6 剰余金の使途	大項目	
	第 7 その他農林水産省令で定める業務運営に関する事項	大項目	-
	1 施設及び設備に関する計画	中項目	
	2 職員の人事に関する計画（人員及び人件費の効率化に関する目標を含む。）	中項目	
	(1) 方針	小項目	-
	(2) 人員に係る指標	小項目	-
	(3) その他	小項目	-

平成 年度 独立行政法人さけ・ます資源管理センター業務実績評価
基礎項目評価票

		独立行政法人さけ・ます資源管理センター	
基礎項目名			
基礎項目の ウェイト数 値			
自己評価 結果	ラ ン ク	A : 計画に対して業務が順調に進捗している B : 計画に対して業務が概ね順調に進捗している C : 計画に対して業務が遅れている	
	(備 考)		
上記自己評 価に対する 評価委員会 における検 証 (委員会に おける基礎 項目評価結 果)	ラ ン ク	A : 計画に対して業務が順調に進捗している B : 計画に対して業務が概ね順調に進捗している C : 計画に対して業務が遅れている	
	(所 見)		
評価委員会水産分科会(委員名)			

平成 年度 独立行政法人さけ・ます資源管理センター業務実績評価
中項目評価票

		独立行政法人さけ・ます資源管理センター	
評価対象 項目名			
基礎項目の評 価結果及びウ ェイト	基礎項目名	ラ ン ク	ウ ェ イ ト
評価委員会に おける評価	ラ ン ク	A : Aの割合が80%以上（業務が順調に進捗） B : Aの割合が60%以上80%未満（業務が概ね順調に進捗） C : Aの割合が60%未満（業務が遅延）	
	（ 計 算 式 ）		
	（ 所 見 ）		
評価委員会水産分科会（委員名）			

平成 年度 独立行政法人さけ・ます資源管理センター業務実績評価
大項目評価票

		独立行政法人さけ・ます資源管理センター	
評価対象 項目名			
基礎項目の評 価結果及びウ ェイト	基礎項目名	ラ ン ク	ウエイト
評価委員会に おける評価	ラ ン ク	A : Aの割合が80%以上（業務が順調に進捗） B : Aの割合が60%以上80%未満（業務が概ね順調に進捗） C : Aの割合が60%未満（業務が遅延）	
	（ 計 算 式 ）		
	（ 所 見 ）		
評価委員会水産分科会（委員名）			

平成 年度 独立行政法人さけ・ます資源管理センター業務実績評価
総合評価票

		独立行政法人さけ・ます資源管理センター	
大項目の評価 結果	項 目 名		ラ ン ク
その他の検討 事項	項 目 名		所 見
	中期計画の「第 2 - 1 業務の重点化」に 記載している事項の対応状況		
	中期計画の「第 2 - 2 - (2) のイ調査 研究とウ技術開発」における S 評価の有無 ・ 内容		
	財務諸表の内容		
	業務運営の効率化への取組状況		
	中期計画に記載されている事項以外の特 筆すべき業績		
	さけ・ます類の放流から回帰までのタイ ムラグ、回帰量の多寡による種卵確保への 影響等の特殊性		
	その他		
	ラ ン ク	A : 計画に対して業務が順調に進捗している B : 計画に対して業務が概ね順調に進捗している C : 計画に対して業務が遅れている	
	(所 見)		
評価委員会水産分科会 (委員名)			